

郷土新聞作り こつ学ぶ

敦賀で中学生向け講座

県中学生郷土新聞コンクールに向け、取材の仕方や見出しの付け方などを解説する講座(県中学校教育研究会社会科部会、県文書館、福井新聞社主催)が22日、敦賀市立図書館で開かれた。夏休みに郷土新聞を作る市内の中学生が新聞作りのポイントを学んだ。(藤田有美)



見出し付けにも挑戦

市内の中学生や学校関係者ら約10人が参加。福井新聞社の徳島泰彦NIEコーディネーターと

福井新聞の紙面や過

去のコンクール入賞作品などを例に、テーマの設定や見出しの数、写真の配置など紙面構成を紹



取材の仕方や見出しの付け方などを中学生に紹介した講座―22日、敦賀市立図書館

.....
介。取材前に下調べを入念にすることや、記事は事実の羅列ではなく伝えたいポイントを絞って書くことなどのアドバイスもあった。

中学生は福井新聞の記事を題材に見出し付けにも挑戦した。徳島コーディネーターは「何を伝えたいかを考えてみて。見出しに正解はない」となどと伝えていた。

受講した高田愛華さん(気比中2年)は「端的に内容が伝わるような見出しを付けるのは難しかった」と話していた。中村穂里さん(気比中2年)は「実際にいろんな所に向いて情報を集めて、良い新聞を作りたい」と意気込んでいた。